二〇一七年度　福岡県公立高校入試問題

四五分
六〇点

一

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。（1から10は、段落の番号を表します。）

1 東西南北の感覚も頭の中の地図を描く上で重要な助けになります。街に住んでいる場合は文字情報がいくらでもありますから、この感覚なしでも移動可能ですが、広い平原など手掛かりが少ないところではどうしても必要です。①<u>この感覚</u>は子供の時の記憶が重要です。今、南を向いているとします。そうすると、右手は西で、左手は東、背中が北になります。あたりまえですが、この判断がすぐ出来る人と、少し時間をかけなければ出来ない人があります。筆者などは後者で、②<u>しばらく</u>考える必要があります。しばらく何を考えているかというと、子供の時に自宅の縁側に腰掛けて座っている自分を思い出しているのです。この時の正面が南で、左手が日が昇ってくる東の方、右手が日が沈む西の方と思い出し、だからこっちが西かなどと考えるので、時間がかかってしまいます。つまり、子供の頃にしっかり焼き付けられた方向感覚を一回一回今の状況に重ねないと、判断が出来ないのです。地図を読むときも東西南北を考える時、この種の翻訳をやっている自分に気がつきます。もちろん③<u>こんな面倒なことを</u>しないで、見ただけで東西南北がわかる方がいいのですが、考え方の癖みたいなもので、今はあきらめています。もともとこの手の能力がないのでしょう。

2 筆者の仲間は案外います。地図をみても仙台は東京の東北方向、などと考えられず、東京の上でちょっと右のほう、などと覚えている人たちがそうです。南半球のオーストラリアのことを、イギリスやアメリカでは「下のほう down under」と呼ぶのだそうです。

3 いずれにしても、時間の見当がつけられ場所の見当もつけられるから、われわれは安心して暮らせています。おおげさに言えば、時空間の広大な世界にしっかりと錨（いかり）を下ろして自分という船を停泊させている、その錨みたいに自分の心を安定させる働きが見当識には a<u>そなわって</u>います。

4 大きな広がりの中で、正しく見当をつけるということの大切さは、時間や空間に限りません。自分がこれからやらなければならない問題の処理にこそ最もよく表れます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

5 たとえば何かの仕事を抱え込んだ時、だいたいこの程度のペースとこの程度の資料を読めばだいたいいけそうだ、という見当がうまくつけられて、たいしてあせらずに余裕で仕上げることの出来る人がいるかと思えば、その仕事にどれくらいのエネルギーを注ぎ込めばよいのかまったく見当がつけられずに、というか見当をつけようともせずに、こんなものすぐ出来るとたかをくくって遊びほうけ、間際（まぎわ）になってあせりまくって、結局何も出来ずに終わってしまう人もいます。試験でも、ここは先生がかなり熱を入れて授業していたな、大事なところに違いない、という見当がつく人と、つかない人がいます。授業の内容だけでなく、その重要さの程度を教師の態度と合わせて、大きな立場から眺められるから、見当がつくのです。

6 見当をつけるためには地図が必要です。

7 地図は点ではなく、面から出来ています。たくさんの地点がそれぞれに関係を持っているのが地図です。仕事をどのくらいで仕上げるかという見当も、この試験ではどこが重要かという見当も、仕事にからむbしゅうへんの知識、あるいはその試験についての授業全体の知識、つまり面の知識が作り上げられていないと、つけようがありません。

8 ④見当づけはヤマカンとは違います。ヤマカンは面の知識なしで、エイヤッと目的地点に達しようとするわけですから、うまくゆくわけがありません。たとえうまくいったとしても、その時かぎりで後には何も残りません。

9 人生の節目節目で、われわれはいろいろな選択や決断を迫られますが、その決断も複数ある選択肢のどれでもいいや、箸の倒れた方向へ行こう、という選択や決断ではうまくゆきません。そんなやりかたは試験のヤマカンと一緒です。自分は何をしたいと思っているのか、どの程度のことをしたいと思っているのか、あるいは今選ぼうとしていることが自分の性格に合っているのかどうか、その方向を選べばその後の生活はどのような方向へ向かうのか、それで後悔しない方向なのかどうか、などということについてあらかじめある程度の考えを持っていないと、見当をつけられません。

10 見当をつける、というのは扱っている問題を一度手元から離して、遠い距離から眺め、他の問題とのかかわりがどうなっているかという大枠を知ることです。全体像を掴（つか）むことです。英語ではパースペクティブと言います。日本には大局観という言葉があります。また、英語から輸入され、日本でも定着していることわざに、「木を見て森を見ず」というのがあります。あるいは「井の中の蛙（かわず）、大海を知らず」ともいいます。細部にこだわって見当をつけられない愚かな状態のことを笑っているのです。部分的な、狭い知識だけでは全体が

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

どうなっているのかは判断出来ません。大きな立場から見ると、それまで見えていなかったことが見え、わからないこともわかるようになります。

（山鳥　重「『わかる』とはどういうことか――認識の脳科学」より。一部改変）

（注）錨…船を留めておくために綱や鎖につけて水底に沈めるおもり。
見当識…時間、場所などを正しく認識する能力。

問一　本文中のａそなわって　ｂしゅうへんに適切な漢字をあて、楷書（かいしょ）で書け。なお、送り仮名が必要なものは、平仮名で正しく送ること。

a [ ]　b [ ]

問二　本文中に①この感覚とあるが、どういう感覚か。本文中から七字でそのまま抜き出して書け。

[ ][ ][ ][ ][ ][ ][ ]

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

問三　本文中の②しばらくの品詞と同じ品詞の語を、次の1～4の――線を施した語のうちから一つ選び、その番号を書け。

1　授業で制作した作品を大切に飾った。
2　美しく咲く庭の花が目に入った。
3　彼は公園を歩く老夫婦に挨拶をした。
4　自分の考えをはっきり主張した。

問四　本文中に③こんな面倒なこととあるが、筆者の言う「面倒なこと」とは何か。三十五字以上、四十五字以内でまとめて書け。

問五　本文中に④見当づけはヤマカンとは違いますとあるが、筆者の言う「見当づけ」とはどういうことか。二十五字以上、三十五字以内でまとめて書け。ただし、**視野**、**関係**という二つの語句を必ず使うこと。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

問六　本文の内容や論理の展開を説明した文として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

1　[3]段落は、[1]段落で挙げた筆者の疑問点を解決する方策として、自分の心の安定を図りながら考える姿勢を持つことが大切だという結論を導き出している。

2　[5]段落は、[4]段落で触れた問題処理の過程において生じる課題を整理した後に、新たな視点で自分の課題に言及し、見当をつけることの大切さを述べている。

3　[7]段落は、[6]段落で述べた見当づけに必要なことをより明確にするために、地図の持つ特徴と関連付けながら具体例を示し、意見に説得力を持たせている。

4　[10]段落は、[9]段落で考えた見当づけとヤマカンの相違点を基に新たな課題を設定し、自己を知ることが大切だという解決策を慣用表現を使って示している。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

二

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。

孔子東游（とういう）す。①両小児の弁闘するを見て、その故を②問ふ。一児曰（いは）く、「我は以（おも）へらく、日の初めて出（い）づる時は人を去ること近く、而（しか）して日の中（ちゅう）する時は③遠しと。一児は以へらく、日の初めて出づるときは遠く、而して日の中する時は近しと。」と。一児曰く、「日の初めて出づるときは大なること車蓋（しゃがい）のごとく、日の中するに及びては則（すなは）ち盤盂（ばんう）のごとし。これ遠き者は小にして近き者は大なるが為（ため）ならずや。」と。一児曰く、「日の初めて出づるときは滄滄涼涼（さうさう）たるも、その日の中するに及びては湯を探るがごとし。これ近き者は熱くして遠き者は涼しきが為ならずや。」と。孔子、決すること能（あた）はざりき。④両小児、笑ひて曰く、「孰（たれ）か汝（なんぢ）を知多しと為（な）せるや。」と。

（「列子」より。一部改変）

（注）孔子…古代の賢人。
東游す…東の方に出かけた。
両小児…二人の子供。
弁闘する…言い争う。
以へらく…思うことには。　而して…そして。
日の中する時…太陽の高度が一番高くなる時。
車蓋…車のかさやおおい。
盤盂…おわんや鉢。
滄滄涼涼…ひんやりとして涼しい。
能はざりき…できなかった。
孰か汝を知多しと為せるや…誰ですか、あなたを物知りだと言ったのは。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

問一　本文中の①両小児の弁闘するを見てという書き下し文の読み方になるように、解答欄の漢文の適当な箇所に、返り点を付けよ。

見テ両小児ノ弁闘スルヲ

見テ両小児ノ弁闘スルヲ

問二　本文中に②問ふとあるが、その主語を本文中からそのまま抜き出して書け。

問三　本文中に③遠しとあるが、何と何とが遠いのか。最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

1　孔子と二人の子供との距離
2　二人の子供同士の距離
3　車蓋と盤盂の距離
4　太陽と人との距離

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

問四　次の表は、本文における「両小児」の主張の違いを整理したものの一部である。空欄 X に入る内容を【状態A】の書き方に合わせて、十字以上、十五字以内の現代語で考えて書け。また、空欄 Y に入る内容を、二十字以上、三十字以内の現代語で考えて書け。

	小児A	小児B
「日の初めて出づる」時の状態	車のかさやおおいのように大きい。【状態A】	ひんやりとして涼しい。
⇕	⇕	⇕
「日の中する」時の状態	X 。	湯の中に手を入れているときのように熱い。

	小児A	小児B
小児の判断	「日の初めて出づる」時の太陽が近い。	「日の中する」時の太陽が近い。
判断の根拠	同じ大きさのものならば、 Y ということ。	同じものから熱を感じるならば、近い所は熱く、遠い所は涼しいということ。

X

Y

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　本文中に④両小児、笑ひて曰く、「孰か汝を知多しと為せるや。」とあるが、両小児は何を笑ったのか。三十五字以上、四十五字以内の現代語で考えて書け。

問六　国語の時間に朗読発表会を行うことになり、あなたはこの文章を一人で朗読することになった。本文中の「日の初めて出づるときは滄滄涼涼たるも、その日の中するに及びては湯を探るがごとし。これ近き者は熱くして遠き者は涼しきが為ならずや。」をどのように読むか。本文の展開や内容を踏まえて、朗読の仕方を、そのように読む理由とともに、二十五字以上、三十五字以内で説明せよ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

三

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。

【ここまでのあらすじ】　自らの茶道の実力に自信を持っていた宗易（そうえき）（後の千利休）は、十九歳の秋、武野紹鷗（たけのじょうおう）に弟子入りを志願する。紹鷗は、堺（さかい）（現在の大阪府中部の地名）の商人でありながらも連歌師（詩歌の一種である連歌を上手に詠む人）と言われるほどに歌の道を究めており、さらに茶の湯ではこの一帯で右に出る者がいなかった。そのため、誰もが簡単に入門を申し出ることができるような人物ではなかった。

紹鷗は、入門を乞（こ）う宗易に、しばらく無言で対座していたが、やがておもむろに口をひらいて言った。

「十六歳の時に、既に茶会をひらいたとの評判は聞いておる。その評判はおそらく貴方（あなた）には害にこそなれ、何の①益にもならなかったであろうな。ここでは、先（ま）ず庭の掃除からやってもらおう。それでもよろしいかな」

宗易はその言葉に、ハッとした。目から鱗（うろこ）の落ちる思いがしたのだ。さすがに武野紹鷗である。②宗易自身の最も誇りとしているところを紹鷗は衝（つ）いた。自分の誇りにしてきたものを、何の益にもならなかったであろうとａ指摘したのだ。その言葉が宗易の身に沁（し）みた。

「入門のお許しを頂ければ幸いに存じます」

宗易は平伏した。

紹鷗を訪ねるまで、宗易は、紹鷗がｂ直ちに自分の点前（てまえ）をどの程度か見てくれるものと、信じて疑わなかった。そして内心、その自分の点前に、紹鷗は賛嘆するであろうことを期待してきた。ところが、紹鷗が命じたことは掃除であった。

「では、しばらくここで待っているように」

紹鷗は部屋を立って行った。八畳の間に、宗易は一人置かれた。

半刻（とき）も経（た）った頃である。弟子の一人が襖（ふすま）をあけて、宗易に告げた。

「では、露地の掃除をとのお言葉でございます」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

与えられた竹箒を持って露地に立った宗易は、③はたと当惑した。たった今掃除されたばかりなのであろう。ちり一つ、木の葉一枚落ちていない。

先ほど、庭の掃除から始めてもらおうと紹鷗に言われた時には、

（掃除ごときことならば……）

という思い上がった気持ちがまだあった。が、ちり一つない庭に立たされて、宗易は内心狼狽した。

（掃除したばかりのあとを掃除せよとは、一体いかなることか）

箒の目も鮮やかな露地を、再び掃くのは余りにも愚かである。そんな無駄ごとは、茶の湯の道にはないはずであった。

（茶の湯とは……）

宗易は、紹鷗が只ならぬ師であることを、まざまざと感じた。

（茶の湯とは……）

竹箒を持つ宗易の手がかすかにふるえた。ここで何をすれば、一体掃除となるのであろう。いかにすれば、掃除をせよとの命に応えたことになるのであろう。

と、その時、宗易の胸に、紹鷗が常々言っていると伝え聞いた言葉が浮かんだ。

「連歌は、枯れかじけて寒かれと言うが、茶の湯も、結局このようでなければならぬ。侘数奇でなければならぬ」

この言葉を宗易は伝え聞いて、心にとめていた。そしてまた、茶道の先達村田珠光の言葉も思い出した。

「月も、雲間のなきはいやにて候」

その言葉も、宗易の胸の中にはあった。雲一点のない空に照り輝く月よりも、雲間に見え隠れする月をよしとした珠光の心である。

「なるほど！」

わかったと思った。宗易の体をつらぬく一つの感動があった。この、ちり一つない庭は、きれいすぎるのだ。ここには侘がない。皎々と照る月と同じである。宗易は、竹箒を置いて、木に寄った。秋とはいえ、まだ、落葉にはやや早い季節である。宗易は力をこめて銀杏の木をゆすった。その四、五枚が午后の日に輝きながら、ひらひらと舞い落ちた。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

宗易の心に、喜びが満ちあふれた。その時、紹鷗が家の中から、自分のすべてを窺(うかが)い、そして④賛嘆したことを、宗易は後に知った。

（三浦綾子「千利休とその妻たち」より。一部改変）

35

（注）平伏した…ひれ伏した。
点前…茶の湯の所作・作法。
露地…茶室へと続く庭。
狼狽した…あわてうろたえた。
枯れかじけて寒かれ…不完全・不足を美とする考え方。
侘数奇…閑寂な趣を尊ぶ茶の湯を好み、その道に専心すること。
先達…その道の先輩、先だち。
皎々…月の光などが明るいさま。
窺い…様子をさぐり。

問一　本文中のa指摘　b直ちにの――線を施した漢字の読みを、平仮名で書け。

a

b　ちに

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

問二　本文中の①益を楷書で書いた場合の総画数と、次の1～4の行書の漢字を楷書で書いた場合の総画数が同じものを一つ選び、その番号を書け。

1 務　2 航　3 飛　4 密

問三　本文中に②宗易自身の最も誇りとしているところとあるが、この内容を述べている最も適当な語句を、「こと」という言葉に続くように、十六字で本文中からそのまま抜き出し、その初めと終わりの三字ずつを書け。

□□□～□□□こと

問四　本文中に③はたと当惑したとあるが、宗易はなぜ当惑したのか。二十五字以上、三十五字以内で考えて書け。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

問五　本文中に茶の湯とは……が、二度繰り返されているが、この表現の効果の説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

1　紹鷗の言葉の真意をつかめず、自問する宗易の焦りや緊張が高まる様子を表している。
2　茶道を究めることは無理だと、己の限界を知った宗易の投げやりな気持ちを表している。
3　自分の志を紹鷗に理解してもらえぬ状況に宗易が憤慨し、不平をもらす姿を表している。
4　茶道とは無関係な指示を出され、紹鷗に入門を志願した宗易の後悔の念を表している。

問六　本文中に④賛嘆したとあるが、このときの紹鷗について説明した文として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

1　紹鷗に反発を覚えながらも、入門の機会を忍耐強く待ち続けた宗易の姿に、深く感心した。
2　先達の言動にとらわれずに新たな侘数奇の境地を地道に追究した宗易の姿に、深く感心した。
3　紹鷗の命に対して、連歌や茶道の精神を踏まえて見事に応じた宗易の姿に、深く感心した。
4　掃除の意義を伝えた紹鷗や珠光に感謝して庭の掃除を繰り返した宗易の姿に、深く感心した。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

四

吉田さんが通う中学校では、地域を清掃する「クリーン活動」を行っている。美化委員長の吉田さんは、初めて参加する一年生に向けて、スライドや動画を用いてプレゼンテーションをすることになった。次は、プレゼンテーションの際に使用する【進行ノートの一部】と【動画の四場面】である。これを踏まえて、後の問に答えよ。

（注）　スライド…プレゼンテーションのときに用いる画像資料。

【進行ノートの一部】

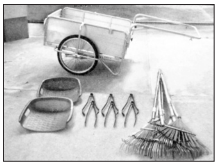
スライド ※1から3の順に説明する。	説明事項等
	・始めの言葉
スライド1 目　的 地域の方々と一緒に自分たちが住む町をきれいにする！	・地域の方々と協働作業を行うこと。 ・活動中は、地域の方々と積極的にコミュニケーションをとること。 （5分）
スライド2 地域の様子 	・ゴミが捨てられている場所は？ →駅前、公園等 ・どのようなゴミが捨てられている？ →ビン、カン等 （5分）
スライド3 活動について (1)手順　回収⇒分別⇒道具の整理 (2)分担　1組 駅前　2組 公園 (3)分別の仕方 燃えるゴミ、燃えないゴミ、ペットボトル、ビン、カン	・分別の際には、ゴミの種類を確認すること。 ・道具は汚れを落として返却すること。 （5分）
	・終わりの言葉

【動画の四場面】

⇩

⇩

⇩



©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問　吉田さんは、スライドを用いてプレゼンテーションを行う中で、昨年度の「クリーン活動」の様子をまとめた三分間の動画を、次の〈動画を流すタイミング〉のAかBで流したいと思っている。あなたなら、どちらのタイミングで動画を流すか、条件1から条件4に従い、作文せよ。

〈動画を流すタイミング〉

A　スライド1の説明のとき　　B　スライド3の説明のとき

条件1　文章は、二段落構成とすること。

条件2　第一段落には、説明や発表をする際に、映像資料（動画や写真など）を活用することのよさについて書くこと。

条件3　第二段落には、AとBのどちらのタイミングで動画を流すか、あなたの考えを示し（どちらのタイミングを選んでもかまいません。）、【進行ノートの一部】に書かれている内容と結び付けて、そのタイミングで流す理由を具体的に書くこと。

条件4　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方に従い、十行以上、十二行以内で書くこと。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈Note〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製·転載を禁止します。

二〇一七年度

福岡県公立高校入試問題

一

解答

問一、a、備わって　b、周辺　問二、東西南北の感覚　問三、4　問四、子供の頃に焼き付けられた方向感覚を一回一回今の状況に重ねながら、東西南北を判断すること。（44字）（同意可）　問五、扱う問題を広い視野から考え、他の問題との関係について知ること。（31字）（同意可）　問六、3

解説

問二、前で「この感覚なしでも移動可能」とあるように、移動の際にその有無が問題となる「感覚」をおさえる。

問三、活用のない自立語で、用言を修飾する副詞。1は、活用のある自立語で、言い切りの形が「～だ」となる形容動詞。2は、活用のある自立語で、言い切りの形が「～い」となる形容詞。3は、活用のある自立語で、言い切りの形が「ウ段」の音で終わる動詞。

問四、前後の「この種の翻訳をやっている」「見ただけで東西南北がわかる方がいい」に着目する。「東西南北」を判断する際の面倒な「翻訳」作業を指しており、「つまり…今の状況に重ねないと、判断が出来ない」とくわしく述べている。

問五、10段落に「見当をつける、というのは扱っている問題を…遠い距離から眺め、他の問題とのかかわりがどうなっているかという大枠を知ることです」とある。目の前の問題だけを考えるのではなく、「視野」を広げ、他の問題との関連付けも行って「全体像を掴む」ということをおさえてまとめる。

問六、7段落の「仕事」「試験」に着目する。これらの具体例によって、6段落の「見当をつけるためには地図が必要です」という主張をよりイメージしやすくしている。

二

解答

問一、見テ二両小児ノ弁闘スルヲ一　問二、孔子　問三、4　問四、X、おわんや鉢のように小さい（12字）　Y、遠くにあるものは小

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

さく見え、近くにあるものは大きく見える（28字）（それぞれ同意可）　問五、物知りとされる孔子が、二人の子供の言い分のどちらが正しいかを決めることができなかったこと。（45字）（同意可）　問六、主張を孔子にどうしても伝えたい場面なので、訴えるように強い口調で読む。（35字）（同意可）

解説

問一、一字戻って読む場合には「レ点」を、二字以上戻って読む場合には「一・二点」を用いる。
問二、「弁闘」している「両小児」にその理由を尋ねているので、「弁闘する」のを見た人物。
問三、前の「日の初めて出づる時は人を去ること近く」に着目する。これに対して「日の中する時は遠し」とあるので、ここでの遠いや近いは、人から見た太陽との距離の感じ方を表している。
問四、X、「日の初めて出づる」時の状態を、「小児A」が「車のかさやおおい」にたとえて太陽の大きさを表現していることに着目する。それに対して「日の中する」時の状態については「則ち盤盂のごとし」と言っている。Y、太陽が出たばかりは「車蓋」のように見えたのに、太陽が高度を上げると「盤盂」のように見えることから、出たばかりの太陽は近くにあり、日中は遠くにあると判断した「小児A」は、その根拠について「これ遠き者は小にして近き者は大なるが為ならずや」と言っている。
問五、直前の「孔子、決すること能はざりき」に注目。「知多し」という評判の孔子なのに、子供の言い争いにすら正否を決められなかったことから考える。
問六、二人の子供がそれぞれの主張を言い募っている場面であることをおさえる。自分の方が正しいと認めてほしいときの話し方を考える。

口語訳

孔子が東の方に出かけた。二人の子供が言い争うのを見て、その理由を尋ねた。一人の子供が言うには「私が思うことには、太陽が出たばかりの時は人からは近くて、そして太陽の高度が一番高くなる時は人から遠い。もう一人の子が思うことには、太陽が出たばかりの時は遠く、そして太陽の高度が一番高くなる時に近い」と。一人の子供が言うには「太陽が出たばかりの時は車のかさやおおいのように大きく、そして太陽の高度が一番高くなる時になるとまるでおわんや鉢のようだ。これは遠くのものは小さく見えて近

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

くのものは大きく見えるからではないのか」と。もう一人の子供が言うには、「太陽が出たばかりの時はひんやりとして涼しいが、太陽の高度が一番高くなる時は湯の中に手を入れているときのように熱い。これは近くのものは熱く感じて遠くのものは涼しく感じるからではないのか」と。孔子は、どちらが正しいと決めることができなかった。二人の子供は、笑って言った。「誰ですか、あなたを物知りだと言ったのは」と。

三

解答

問一、a、してき　b、ただ(ちに)　問二、2　問三、十六歳～らいた(こと)　問四、露地の掃除を命じられたのに、そこにはちり一つ落ちていなかったから。(33字)(同意可)　問五、1　問六、3

解説

問二、10画。1は11画、3は9画、4は11画。

問三、後に「自分の誇りにしてきたものを…指摘したのだ」とあるように、紹鷗から「何の益にもならなかった」と言われたことをおさえる。

問四、直後の「たった今掃除されたばかりなのであろう。ちり一つ、木の葉一枚落ちていない」に着目する。「露地の掃除」を言いつけられていた宗易は、もはや掃除するところもないように見える庭を見て「狼狽」している。

問五、「掃除したばかりのあとを掃除せよとは、一体いかなることか」と狼狽している。紹鷗の言葉が「茶の湯の道」につながることを示しているとは思うものの、それが何かがわからず、宗易は必死に考えていることをおさえる。また、「手がかすかにふるえた」に、はりつめた気持ちが表れている。

問六、「いかにすれば、掃除をせよとの命に応えたことになるのであろう」と考えた宗易は、「侘数奇でなければならぬ」「月も、雲間のなきはいやにて候」という紹鷗や村田珠光の言葉を思い出して、「ちり一つない庭は、きれいすぎるのだ。ここには侘がない」と気づき、庭に木の葉を散らしてみたことから考える。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

四

解答

（例）

言葉だけの説明や発表では、その内容を具体的にイメージできないこともある。映像資料を活用することで、そうしたマイナス面を補うことができる。

動画の四場面には、地域の方々とコミュニケーションをとって協働作業をする様子や、ゴミを分別する様子、また使用する道具が映し出されている。初めて参加する一年生には、まず「クリーン活動」を具体的にイメージしてもらうことが大事なので、Aのタイミングで動画を流し、関心をもって説明を聞いてもらうようにしたい。（12行）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。